

令和元年度第3回射水市地域公共交通活性化協議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年2月13日（木）午前10時～午前10時50分
- 2 開催場所 射水市役所（本庁舎）2階会議室201・202
- 3 出席者 岩田会長、川腰副会長、林委員、高松委員、釣谷委員、宮腰委員、作道委員（代理河上氏）、白川委員、水上委員、上田委員、山崎委員（代理宮嶋氏）、澤井委員、島倉委員、坂井委員、中村委員、豆川委員（代理徳永氏）、山下委員、谷内委員（代理藤井氏）、高坂委員、佐々木委員、長谷川委員、清水委員（代理藤田氏）、石橋委員、米本委員、荒谷委員、島崎委員
事務局 原市民生活部次長、星野生活安全課長、久々江課長補佐、北川主任、宮林主任

4 会議概要

(1) 開会

岩田会長挨拶

(2) 協議

ア 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の結果について

（事務局から説明：資料1）

（長谷川委員から補足説明）

報告いただいた資料については、第三者評価委員会にかけられ、二次評価を受けることとなる。その二次評価の結果は後日北陸信越運輸局のホームページでも公開される予定になっている。

イ パブリックコメントの実施結果について

ウ 「射水市地域公共交通網形成計画（案）」について

（事務局から一括して説明：資料2・資料3）

(委員)

事務局におかれては、計画策定に尽力され感謝する。

計画というものは作成してからが本番だと思っている。工程表の中に具体的に実施する事業については、忘れずに計画終了時等にできていないということがないように関係者と協議していただきたい。例えば、P87にはMaaS実証実験をすると書いてあるし、また観光分野との役割分担なども実証運行すると書いてあるので、忘れずに取り組んで欲しい。

(事務局)

工程表にそって進めていきたい。まず令和2年度はコミュニティバス、デマンドタクシーの見直しに取りかかりたい。

(委員)

資料3のP25の運行負担金が、以前のものとは数字が変わっているのは、何か理由があるのか。

また、計画の工程に基づいて進めていく中でコミュニティバス・デマンドタクシーの見直しや、MaaSやグリーンスローモビリティの関係については情報共有させていただきたい。

(事務局)

運行負担金については、精査して修正した。

グリーンスローモビリティについては、電動カート導入予定などの計画があるので、国・県とも協議しながら進めたい。

(委員)

他の先行自治体の状況も踏まえて申し上げると、進捗管理については、それぞれのタイミングで協議会を開催して確認している。目標がいいのかどうかも含めて、計画に則って進捗管理していただきたい。

計画は、市の担当者だけが頑張るというものではなく、事業者、地域住民も積極的・主体的に公共交通に関与してほしい。先ほどパブリックコメントの意見が紹介されたが、建設的な意見が出されており、ここまでの意見があがるのはとても良いことだと感じた。射水市にはそういった土壤があるということなのだと思う。

(委員)

パブリックコメントについて、市内高齢者事故割合のデータは公表されていないということだったが、事故がどこであったかは分かるはずで、場合によってはホームページでなくても担当課で出していただける場合もある。関心の高い部分なので、可能であれば反映すれば意見を提出された方にも喜んでもらえるのではないか。

(事務局)

データを管理している射水警察署とも協議をしながら記載の可能性を話している。協議の中では統計上各支所単位の統計は示していないということであったので、それを踏まえて今回は記載しないということにさせていただいた。状況が変われば公表していきたい。

(委員)

射水市は富山市、高岡市、砺波市と隣接しており、移動が隣接市に広域にまたがる場面が多く、海と山もあり、移動の手段を多方面で検討する必要がある、計画策定されたことと思う。

あいのかぜ鉄道や万葉線が走り、自治体合併でコミュニティバスの路線も多く、バス交通会議も以前から存在している。網形成計画が策定されたこれからが大変な作業があると思う。そういう意味では、交通政策に特化した窓口があってしかるべきではないか。窓口の設置を今後計画を推進していく中で検討していただきたい。

(事務局)

公共交通の業務は生活安全課で人員を配置して取り組んでいるところである。引き続きしっかり取り組んでいきたい。

(3) 閉会